

平成18年11月30日
筑波大学

筑波大学 朝永振一郎博士生誕100年記念事業 青少年プログラム
「科学の芽」賞の審査結果について

1. 「科学の芽」賞の概要

- (1) 趣旨
朝永振一郎博士生誕100年記念事業の青少年プログラムの一環として、朝永博士の功績を称え、それを後続の若い世代に伝えていくために、小・中・高校生を対象に自然や科学への関心と芽を育てることを目的としたコンクールを行い、「科学の芽」賞を授与します。
- (2) 主催・後援
主催：筑波大学
後援：毎日新聞社、時事通信社、日本教育新聞社
日本物理学会、日本物理教育学会、日本科学教育学会、日本理科教育学会
- (3) 対象
小学校3学年～中学校、高等学校、盲・聾・養護学校の個人もしくは団体
小学生部門、中学生部門、高校生部門に分けて公募します。
- (4) 募集作品

ふしぎだと思うこと
これが科学の芽です
よく観察してたしかめ
そして考えること
これが科学の茎です
そうして最後になぞがとける
これが科学の花です
(朝永振一郎)

この言葉のように、子ども達が自然現象の不思議を発見し、観察・実験して考えたことをまとめたもの。完成された作品ではなく、子どもらしい素直な疑問・発見があるものが望ましい。
様式はレポート用紙A4判 10枚以内とします。
(※朝永博士の言葉は京都市青少年科学センター所蔵の色紙に書かれたもの)

2. 応募状況

平成18年8月1日(火)～9月30日(土)にかけて募集したところ、全国24都府県から全部門合計で645件(個人580件、団体65件)、延べ792名の応募がありました。

応募件数(件)

小学生部門	国立	72	中学生部門	国立	297
	公立	204		公立	21
	私立	5		私立	10
	計	281(33)		計	328(15)
高校生部門	国立	12	全部門合計	国立	381
	公立	16		公立	241
	私立	8		私立	23
	計	36(17)		計	645(65)

【注】()内数値は団体による応募で内数

3. 審査結果

筑波大学の教授及び附属学校教員が審査・選考を行った結果、小学生部門8件、中学生部門8件、高校生部門3件について、優秀と認め「科学の芽」賞を授与することとしました。

受賞者数(件)

部門	小学生部門	中学生部門	高校生部門	全部門合計
件数	8(0)	8(1)	3(1)	19(2)

【注】()内数値は団体による応募で内数

受賞者一覧

(氏名の五十音順)

部門	作品題名	氏名	学校名
小学生	風力発電機の研究	河村進太郎	山口県防府市立華浦小学校6年
	ヒマワリの種はなぜ平らにまかなければいけないのか?	棚田 莉加	筑波大学附属小学校3年
	あわでないでね	土田 葉月	秋田県横手市立雄物川北小学校3年
	百日草のさき方と花について	永原 彩瑚	筑波大学附属小学校3年
	モンシロチョウは葉のどこに卵をうむのか?	鳴川 真由	福島県伊達郡飯野町立飯野小学校5年
	カブトムシが集まるエサの研究Ⅲ	新居理咲子	高知県高知市立高須小学校5年
	「はねて・たつ・しゃりん」のひみつを調べよう	松原花菜子	茨城県稲敷郡阿見町立本郷小学校3年
	くりの木の不思議 ～お母さんの木と子どもの木～	渡部 京香	秋田県横手市立金沢小学校5年
中学生	流れと渦の研究 ～なぜ渦はできるのだろう?～	荒井 美圭	筑波大学附属中学校1年
	納豆の醗酵に及ぼす「音」の影響	櫻村 琢実	茨城県ひたちなか市立大島中学校3年
	紙おむつの秘密を探る	齋藤 琴音	筑波大学附属中学校1年
	人の色の見え方	佐川 夕季	筑波大学附属中学校2年
	ラジカセの音を大きくするには	永井亜由美	東京都千代田区立九段中等教育学校1年
	土壤汚染の植物への影響 PART3	仁熊佑太, 健太	東京都私立成蹊中学校2年
	キンギョの活動性に及ぼすミネラルの効果: 軟水と硬水の比較実験	古川 詩織	茨城県つくば市立並木中学校3年
	のびるカイワレダイコン	松下 美緒	愛知県刈谷市立朝日中学校1年
高校生	Brzが植物の耐塩性に与える影響	木村あかね	青森県私立八戸聖ウルスラ学院高等学校3年
	リニアモーターカーの理論と模型の製作	出口 雄大	筑波大学附属駒場高等学校3年
	融解塩徐冷法による塩化ナトリウムの結晶作り	中川 恵理 長谷川 薫	千葉県立柏中央高等学校2年

4. 今後の予定

○平成18年12月23日(土) 13時～16時

筑波大学大学会館に於いて発表会・表彰式を開催し、学長より表彰状及び記念品の授与並びに懇談会を実施します。

5. 問い合わせ先

筑波大学附属学校教育局総務課 大日向(おおひなた) (電話: 03-3942-6804)

〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1 e-mail: kagakunome@net7-7sec.tsukuba.ac.jp

6. 取材に関する窓口

筑波大学総務・企画部広報課 和田 (電話: 029-853-2040、FAX: 029-853-2014)